# 未来をつくり出す力の 基礎を培うために

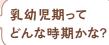
幼保連携型認定こども園って とんなところ?



※ 認定こども園には、幼保連携型・幼稚園型・保育所型・地方裁量型の4つの類型があります。そのうち、幼保連携型認定こども園は、幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能を併せ持つ単一の施設として、認定こども園としての機能を果たすタイプです。

詳細については裏表紙をご参照ください。

※ 本資料は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいて作成していますが、 保護者の方などにも幅広く参考としていただくことを想定して作成していること から、国の法令等とは異なる表記も含まれています。



# 幼保連携型認定こども園には

# 発達の特徴

## 0歳児

安心・信頼「心地いいな」

## 1歳児

「あれなあに?」「これなあに?」 「いやいや!」

### 2歳児

「どうして?」「自分でやりたい」 「聞いて、聞いて」「自分でできた!」







### ★ 0歳~1歳の頃

視覚、聴覚などの感覚や、座る、はう、歩くなどの運動機能が発達します。

特定の大人との応答的な関わりを通 じて情緒的な絆が形成されます。

### ▲★ 1歳~2歳の頃 ★★

周囲の人や物への興味や関心が高まり、自分から手を伸ばして触ろうとしたり自分の意思を親しい大人に伝えたいという欲求が高まったりします。

自我が芽生え、1歳半ば頃から自己 主張が強くなります。

### ★ 2歳~3歳の頃

言葉も増え、おしゃべりを楽しんだり、大人の真似をしたり同じ動きを 楽しんだりするようになります。

「自分でやりたい!」と様々なこと に挑戦するようになります。

基本的な生活習慣は、ほぼ自立

# 幼稚園教諭の免許と保育士の資格、両方を持っている「保育教諭」

### 園では発達に応じた関わりを大切にしています。

子どもの気持ちを汲み取って 言葉に出すなど、応答的な関わ りを大切にしていきます。

愛情豊かに、子どもの欲求に 丁寧に応答していきます。



「自分でやりたい」という気持 ちや子どもの欲求を受け止めな がら、温かく見守っていきます。



子どもの好奇心を大切に。「やってみよう」「楽しいな」「どうしてかな」など、子どもと一緒に楽しみます。

安全に気を付けながら、全身を 使う遊びなど、様々な遊びを取 り入れていきます。





発達の進み具合などは一人一人

# 0歳児から5歳児の子どもが生活しています。

「面白そう」「やってみよう」 「楽しいな」「これがしたい!」



「あの子と一緒にいたいな」 「嬉しいな」・「悲しいな」・「けんかしちゃった」 「みんなと一緒で楽しいな」



「どうなるかな?」・「試してみよう」 「挑戦してみよう」 [こうしてみない?] [いいよ] 「友達がいるっていいな」



### ▼★ 3歳~4歳の頃 ★▼

言葉や運動機能がますます発達する 時期です。

「やってみたい」「面白そう」など、 気持ちを表現しながら、自分が興味 や関心をもった遊びを楽しみます。

できるようになってきます。

### 4歳~5歳の頃

自己主張し、友達との中で葛藤を体 験することが増えるようになります。

自分と友達の気持ちが違うことに気 付いたり、自分の気持ちの伝え方を 知ったりしていきます。

### ★★ 5歳~6歳の頃 ★★

友達との関わりが深まり、自分の考 えや気持ちを言葉で伝え合うように なります。

友達と役割を分担したり力を合わせ たりしながら遊びや生活をつくり上 げていくようになります。



# と呼ばれる職員が、子どもたちと一緒に過ごしています。

興味や関心を大切に。自分のし たい遊びを十分に楽しめるよう にしていきます。

「嬉しいな」「悲しいな」「面白いな」「悔しいな」 など、子どもが感じている様々な気持ちを、あ りのまま受け止めていきます。

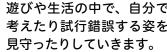
> 友達の考えや気持ちに気付くこと ができるように、相手の考えや気 持ちを丁寧に知らせていきます。

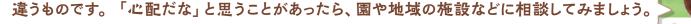
友達と協力しながら遊ぶ機 会をつくったり、その姿を 認めたりしながら、友達の いる嬉しさやよさを感じら れるようにしていきます。

子どもが自分の成長を感 じ、小学校での生活を楽し みにできるような関わりを 大切にしていきます。

自分の力を発揮しながら生活を進 めている姿を認めていきます。

遊びや生活の中で、自分で 考えたり試行錯誤する姿を 見守ったりしていきます。





# 保護者が、働いているか、働いていないかに

小学校以降の学習や生活の基礎となる幼児期の「教育」と、 保護者が就労しているなど、保育が必要な子どもへの「保育」の両方を提供しています。

# 幼保連携型認定こども園の一日

0歳児~2歳児

保育を必要とする子ども

3歳児~5歳児

保育を必要とする子どもが過ごしています

教育時間のみ在園する子どもと、









一人一人のペースを大切に、ゆったりと過ごせ るようにしています。

保護者の就労や登園時間に合わせて順次登園します。

# 遊びや生活の中で、様々なことを体験しています。

保育教諭との信頼関係を基盤に







作ったり 作ったもので 遊んだりして

様々な表現を楽しんで

季節の移り変わりを 感じながら





いろいろなものに 興味や関心をもって



自分たちの 生活する場を 整えて

遊びや生活の中での様々な体験が、 乳幼児期に大切にしたい学びです。

乳幼児期は、身の回りにある環境(人・遊具・場所など)に

# 関わらず、子どもたちを受け入れています。

幼保連携型認定こども園は、「学校」と 「児童福祉施設」の両方の役割があります。



### が過ごしています

保育を必要とする子どもが一緒に過ごしています

保育を必要とする子どもが過ごしています







保育教諭や友達と様々 な遊びを楽しみます。

発達に応じて昼寝をしたり、家庭的な 雰囲気の中で過ごしたりすることがで きるような配慮をしています。



降園時間や保護者の就労に応じて順次降園します。



気持ちを伝えたり 聞いたりしながら



生き物や自然に触れながら

友達と協力して



用具の扱い方を知る



試したり工夫したりして

友達と一緒に



様々な感触を味わって

体を動かす楽しさを感じて





# 自分から関わって展開する、「遊び」を通して育っていく時期です。

乳幼児期に、幼保連携型認定こども園で育みたいこと